

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年4月の国内電気銅建値は下記の通りです。

4月	1日	～	570円/Kg
4月	8日	～	580円/Kg
4月	15日	～	590円/Kg
4月	20日	～	600円/kg
4月	23日	～	590円/kg

2020年4月度は平均で584.00円/kgとなり、前月比21.70円/kgの値下がりとなりました。

海外銅価の動き

4月のLME銅相場	4/1～4/27 (安値ドル 4,772.00～5,175.50 高値ドル)
4月のNYC銅相場	4/1～4/27 (安値セント 219.20～238.20 高値セント)

4月度のLME現物は、4/1 \$4,772.00 でスタート。新型コロナの世界的な感染拡大は依然深刻な状況にある。4月に入り、欧州の一部でその傾向に鈍化が見られるなど、投資家の不安心理がやや和らいだ様子も認められリスク回避の姿勢に一服感も出た。しかしながら、LMEの在庫も20万tを大きく超えて推移しており、15日、米商務省が発表した3月の小売売上高は前月比8.7%減。市場予想の8.0%を更に下回り、1992年に記録を取り始めてから最大の下げ幅になった。更に、20日のマーカンタイル(NYMEX)原油先物の取引価格が5月物で史上初めてマイナスの1バレルあたり-37.63ドルで引け、市場に動揺が広がった。今月12日、OPECとロシアなど非加盟産油国の間で、世界産油出量のおよそ10%に相当する970万バレル/日の減産を合意していたが、石油需要の減少幅はこれを超えるとの見方が大勢だ。既に、原油の保管場所は逼迫しつつあり、今回のマイナス相場の背景にもなった。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年7月 資料より (単位/千トン)

	2018年 実績	2019年 実績	前年比	2020年 予想	前年比	2021年 予想	前年比
全世界地金生産	23,339	23,843	+2.2%	24,253	+1.7%	24,655	+1.7%
全世界地金消費	23,579	23,932	+1.5%	24,290	+1.5%	24,607	+1.3%
全世界需給バランス	-240	-89		-38		+48	

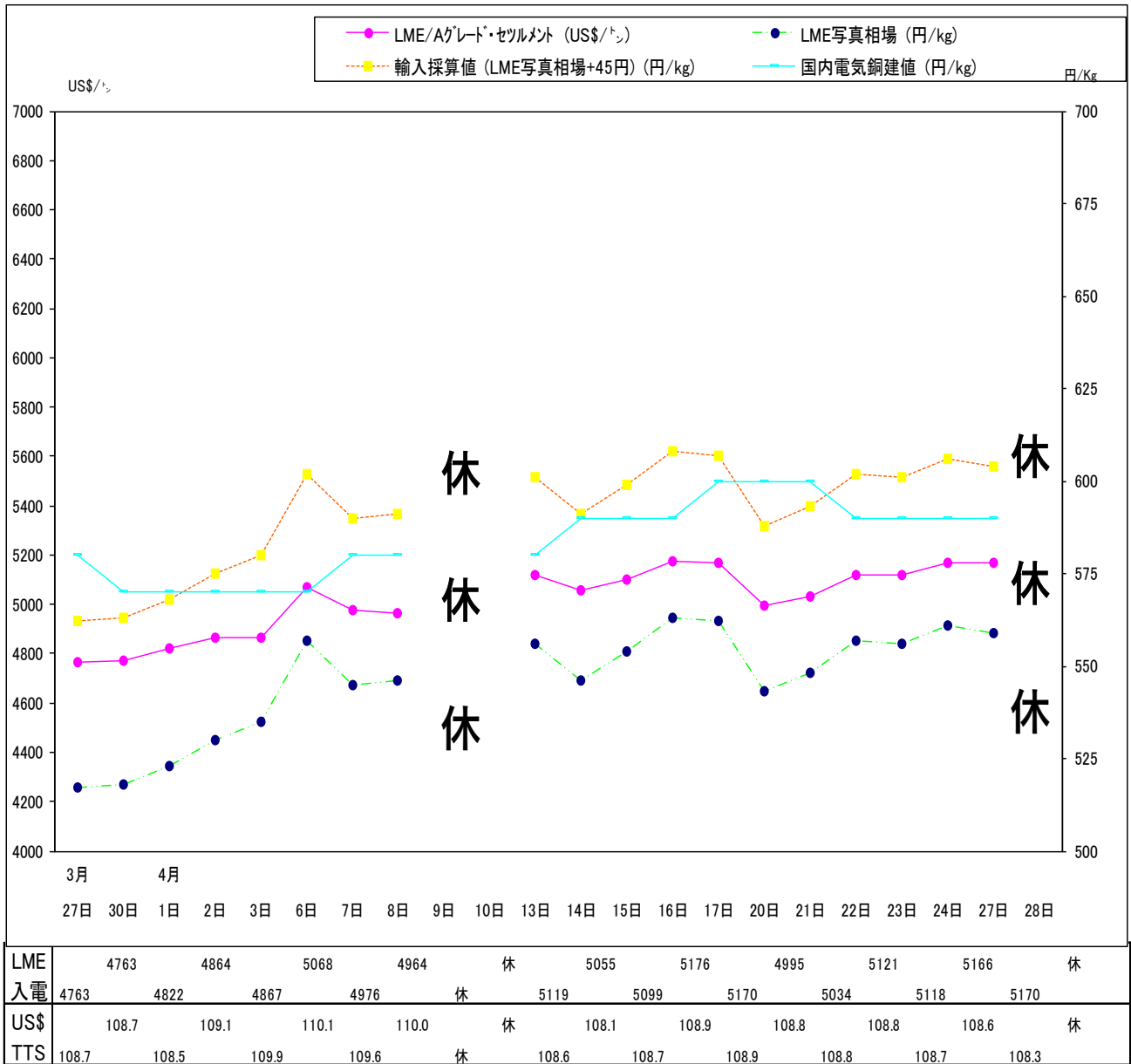
先行き短期見通

国内銅価

4月の国内建値は4/1 570円でスタート。8日 580円、15日 590円、20日 600円と一見順調に値を上げた。その後、為替の影響もあり、4/23 590円/kgとやや下げて4月の平均は584円/kgとなった。

4/27付 LME \$5,165.50、同 為替 (TTS) 1USD=108.61円で日本円換算計算値 561円/kgに。2020年4月の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、600円/kgの予想で

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年4月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 4月 1日 ~ 262 円/kg
- 4月 6日 ~ 256 円/kg
- 4月 10日 ~ 259 円/kg
- 4月 17日 ~ 262 円/kg
- 4月 23日 ~ 259 円/kg

平均259.50円/kg

2020年4月は上記の通りで前月比 0.10 円/kg の 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	4月	243.60 円/kg	(前月比-	5.60 円/kg)
電気錫 (相対)	4月	3,010.00 円/kg	(前月比-	140.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	4月中価格	1,450.00 円/kg	~	1,500.00 円/kg
銀	3月平均	54,000.00 円/kg	(前月比-	10,690.00 円/kg)
	4月30日	53,790.00 円/kg		
金	3月平均	5,551.00 円/g	(前月比-	114.78 円/g)
	4月30日	5,902.00 円/g		

◎ 伸銅品関係

2020年3月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		2月度実績	3月度速報	前月比	前年3月度実績	前年同月比
銅	板	1,363	1,176	-13.7%	1,398	-15.9%
	条	20,275	20,652	1.9%	23,571	-12.4%
	管	8,856	9,235	4.3%	9,546	-3.3%
	棒	1,976	1,968	-0.4%	2,247	-12.4%
	線	235	262	11.5%	262	0.0%
黄銅	板	561	558	-0.5%	621	-10.1%
	条	7,267	7,957	9.5%	9,251	-14.0%
	管	500	459	-8.2%	579	-20.7%
	棒	14,089	13,830	-1.8%	14,628	-5.5%
	線	2,109	2,010	-4.7%	2,120	-5.2%
青銅	板	2,383	2,297	-3.6%	2,212	3.8%
	条					
	棒	238	277	16.4%	315	-12.1%
	線					
洋白・その他	板	431	421	-2.3%	385	9.4%
	条					
	棒	358	378	5.6%	434	-12.9%
	線					
合計	60,641	61,480	1.4%	67,569	-9.0%	

3月の伸銅品生産速報は、61,480トンで前月比プラス839、前年同月比マイナス9.0%となり、前年同月比が16ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の20年1月分実績及び2月分推定では、1月分実績は総計5万4千223tで前年同月比1.1%減と4ヵ月連続で下降した。自動車と建設電販が前年をやや上回ったが、依然として電気機械 他が振るわず。

一方、2月分の銅電線出荷推定では、総計5万4千700t(同3.5%減)と5ヵ月連続で前年を下回る見通し。通信や電力、自動車の3部門は増加するものの、主力の建設電販が2万5千600tで同7.2%減と伸び悩んだことが大きく響いた。

1月分の部門別出荷をみると、プラスグループは通信、電力、自動車と建販の4部門。通信はCCPなどが伸び悩みも、建販向け、データセンター向けのLANケーブルが動いたほか、一部 5G絡みも健闘して同12.8%増と大幅に増えた。ただし、伸び率が高いのはベースが小さいため。電力は、OFケーブルの一部張替え需要に、メンテナンスや洋上風力発電向けが重なり同6.6%増。自動車は、自動車市場のトレンドに連動し同1.0%増と2ヵ月連続で底堅く増えた。建設電販は東京五輪の需要が終わったものの、再開プロジェクトや駅舎のリニューアル需要などによって、同1.6%増加で2ヵ月連続での伸長となったが、勢いなく、踊場に差し掛かった。

一方マイナスグループは3部門。電気機械は貿易摩擦などの影響で同5.0%減少し、17ヵ月連続で前年割れとなった。その他内需も、設備投資の低調が響き同3.8%減で4ヵ月連続での下降。輸出は大型スポット需要が減り同39.5%減少した。

2020年1月分(実績)・2020年2月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	1月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	2月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	1月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	887	9.4	12.8	700	(▼21.1)	4.6	1,459	15.3	2.7
電力	(1,339) 3,986	(40.2) 23.8	(▼10.4) 6.6	(1,200) 4,100	(▼10.4) 2.9	(▼44.9) 7.4	(1,007) 4,807	(43.0) 25.9	(▼12.0) 9.6
電気機械	(261) 10,683	(▼13.9) ▼2.3	(▼28.7) ▼5.0	11,300	5.8	▼3.4	(253) 14,583	(▼4.5) ▼2.6	(▼28.1) ▼4.6
自動車	(146) 7,129	(▼11.0) ▼2.0	(23.7) 1.0	7,700	8.0	3.3	(552) 36,328	(▼0.5) 11.1	(7.0) 7.3
建設・電販	(16) 26,530	(▼15.8) ▼7.2	(▼23.8) 1.6	25,600	▼3.5	▼7.2	(16) 30,521	(▼20.0) ▼5.0	(▼11.1) 0.2
その他内需	(82) 3,903	(26.2) 2.0	(▼3.5) ▼3.8	(500) 3,900	(▼1.0) ▼0.1	(▼42.6) ▼1.5	(84) 6,800	(7.7) 5.0	(6.3) ▼5.2
内需計	(1,844) 53,118	(22.4) ▼2.8	(▼11.5) 0.2	(1,700) 53,300	(▼7.8) 0.3	(▼44.2) ▼3.4	(1,913) 94,498	(17.9) 3.4	(▼9.3) 2.0
輸出	(1,205) 1,105	(30.3) ▼46.2	(258.6) ▼39.5	(200) 1,400	(▼83.4) 26.7	(19900.0) ▼8.4	(635.0) 4,280	(30.7) ▼30.6	(273.5) ▼34.5
合計	(3,049) 54,223	(25.4) ▼4.4	(26.0) ▼1.1	(1,900) 54,700	(▼37.7) 0.9	(▼37.7) ▼3.5	(2,548) 98,778	(20.8) 1.3	(11.8) ▼0.4
心線販売	(563) 25,740	(40.4) ▼3.8	(▼62.7) ▼3.5	(500) 25,300	(▼11.2) ▼1.7	(▼66.2) ▼11.1	(142) 17,774	(47.9) ▼2.0	(▼65.4) ▼8.2

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年1月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,275	▼9.7	▼3.0	2,694	▼9.1	▼20.4	
巻線	10,198	▼2.0	▼3.0	10,790	▼2.3	▼3.6	
機器用電線	3,192	▼1.1	▼6.6	9,192	▼1.5	▼5.5	
通信用電線・ケーブル	1,324	4.3	▼2.9	3,027	5.7	▼1.8	
電力用電線・ケーブル	20,765	▼2.5	3.0	21,694	▼2.6	▼0.8	
被覆線	9,715	▼13.5	▼4.3	14,211	▼7.0	▼3.1	
輸送用電線	5,754	2.0	▼1.5	37,171	10.0	5.5	
銅電線計	54,223	▼4.4	▼1.1	98,778	1.3	▼0.4	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル 電力用電線・ケーブル、被覆線 計	77 3,502 3,585	8.5 0.2 0.3	▼1.3 15.5 15.0	253 4,065 4,360	7.7 2.3 2.9	▼4.5 15.1 13.5
アルミ電線計	3,049	25.4	26.0	2,548	20.8	11.8	
光製品	2,727,970	3.6	▼23.1	22,822	▼12.8	5.8	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	4,815	▼16.9	4.8	

(注) 1. EM電線・ケーブルはJCS規格17品種が対象であり、機器用、消防用等のノンハロタイプは含まれない

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

○ 国際アルミニウム地金相場、第1週は、中国 PMI が市場予想に反し、50 を上回る大幅改善も、LME 在庫の増加が続いているアルミ相場は軟調推移。米 ADP 雇用統計が 2 年半ぶりにマイナスを記録。欧米の 3 月製造業 PMI も節目の 50 を下回り各国株式市場は軟調。加えて米新規失業保険申請件数が過去最高の 665 万件とアルミ相場を下押し。第2週、欧州各国の 3 月非製造業 PMI が節目の 50 を大きく下回りドル高進行。加えて米 3 月雇用統計で非農業部門雇用者数が前月比 70.1 万人減と 9 年半ぶりの減少、失業率も 4.4% に悪化したことでリスクオフが加速。新型コロナで封鎖されていた中国武漢解放が中国需要回復の予兆として強気なセンチメントが生まれる中、感染者数の減少傾向は安定したものではなく、死者数の伸びにも改善が見られない一方で、FRB の低格付け債購入措置の導入、ユーロ圏の 60 兆円規模の景気対策合意、OPEC プラスの日量 1000 万バレル減産の方を受けてジリ高。第3週、IMF は 2020 年の世界経済成長率が -3% に落ち込むリスクシナリオを発表、1929 年世界恐慌以来の下げ幅予想で市場に動揺が走る。ワクチン開発が進む一方で「世界恐慌並み」「戦後以来」悪化する経済指標が続出し、買うに買えず、トレーダーは売買を保留中。第4週、ユーロ圏 4 月 PMI が 13.5 と 3 月の 29.7 をさらに下回る。新型コロナウイルスの世界的な「長期化」懸念でメタル価格に下押し圧力が発生。最終週、銅だけは、SHFE 在庫が 4 万トン強の急減を見せたことから、中国生産活動期待でやや上昇。アルミに関しては、値動きの乏しい横ばいで当面は \$ 1, 5 0 0 付近の狭いレンジでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー (C I F) 2020 年 3~4 月積 1,533.00~1,547.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020 年 3~4 月積 176.90~178.50 円/kg
- ・NSP 2020 年 2 月 238.10 円/kg
- ・NSP (メーカー対応価格) 2020 年 4 月~6 月 250.00 円/kg

○ IAI 統計アルミニウム新地金生産高 (単位=千トン)

	' 20 年 2 月	' 20 年 3 月	' 19 年 3 月
月生産	*2,236.0	2,377.0	2,357.0
平均日産	*77.1	76.7	76.0

(* = 訂正有り) 中国は対象外にしております。

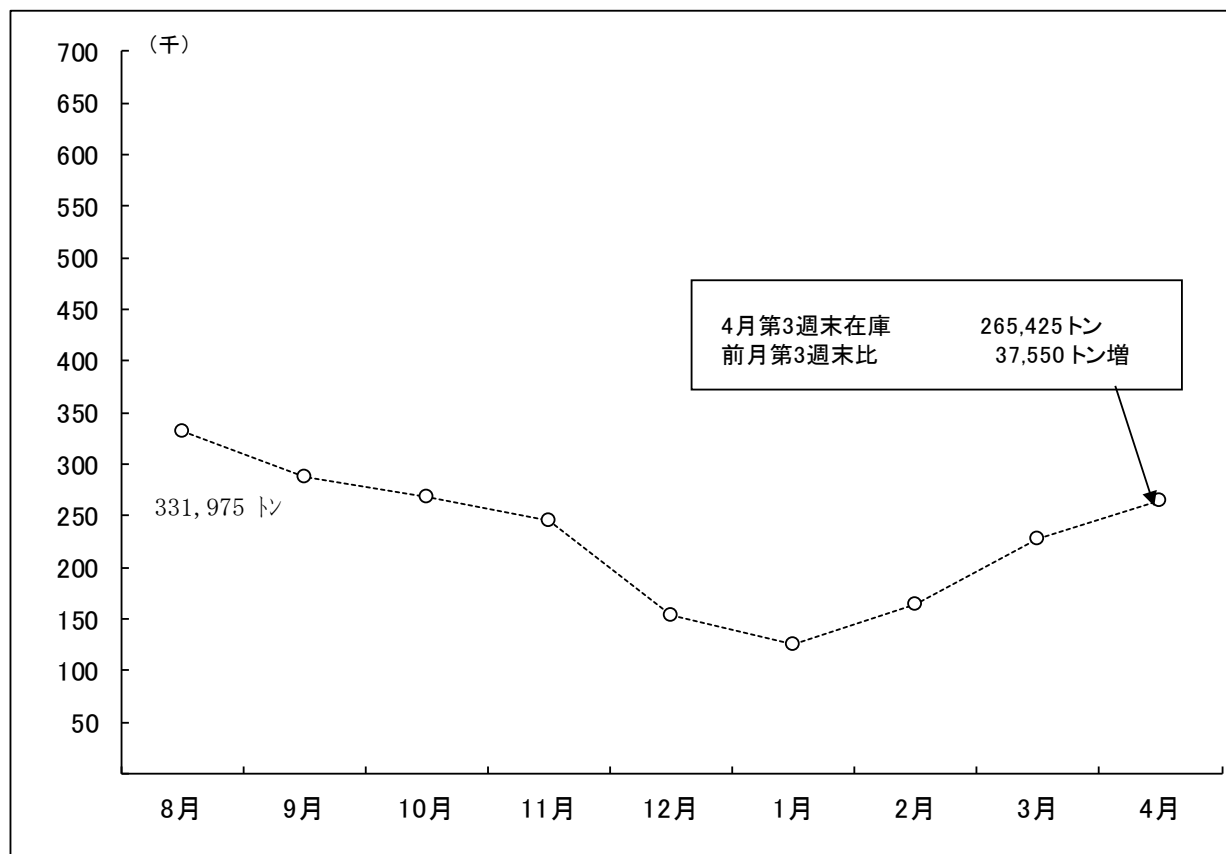
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位: トン)

	2019 年 12 月	2020 年 1 月	増減	2019 年 1 月	増減
横浜	160,000	160,200	+200	151,100	+9,100
名古屋	139,000	130,000	-9,000	148,400	-18,400
大阪	15,000	15,000	±0	15,000	±0
合計	314,000	305,200	-8,800	314,500	-9,300

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫（各月第3週末参考）



◎ COMEX在庫（第3週末）

・20年4月17日現在 41,326 S T 前月比 13,330 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年2月末 109,754 トン 前月比 4,804 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年2月確報 60,641 トン
 ・20年3月速報 61,480 トン 前月比 101.2 %

◎ 電線出荷実績

・20年3月速報 57,400 トン 前月比 104.9 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 3月	板 類	97,184 トン	
	押出類	61,444 トン	
		<hr/>	
		158,628 トン	前月比 100.3 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。